



1年生で行ったSGH講演会の報告です。

◇第2回 SGH 講演会

『インバウンド入門 ～外国人観光客誘致の現状と課題～』

株式会社 JTB 後藤貴康氏

平成30年9月11日(火)

株式会社 JTB 岐阜支店長の後藤様をお招きし、インバウンドをテーマに講演していただきました。なぜインバウンドが必要なのか、どうしたらインバウンドを呼び込むことができるのか、最近のデータや実際の経験を示しながら話していただきました。

今後のSGH活動を行っていくうえで有益な情報が多くあり、生徒にとってテーマについて改めて考える良い機会になりました。講演後には、何人かの生徒が自分たちのグループのテーマに関して質問をしました。どの質問にも丁寧に答えていただきました。

今日学んだことをもとに、今年度のテーマ『インバウンドを岐阜県に』に対して具体的な提案ができるよう、学びを深めていきます。



生徒の感想

- *講演を聞く前は、インバウンドと人口減少は関係ないと思っていたけれど、インバウンドを呼び込めば、経済にも影響を与えられることが分かった。
- *その地域の様々な魅力を組み合わせて1つのストーリーを創り上げると言われたことがとても心に残りました。確かに1つでは弱いと感じることもいくつかを組み合わせると1日楽しめるくらいのツアーやプランが作れば多くの外国人観光客に満足してもらえると分かった。また、それぞれの国の特性を生かし考えていくことが大切だと分かった。
- *今回の講演できっかけが大切だと思いました。日本や地域に来てもらうことを待つのではなく、観光ビジョンを組み合わせると国際競争力を高め、来てもらった時にストレスなく過ごしてもらう方法を考える必要があると思いました。
- *インバウンドを呼び込むしかりとした理由がよくわかりました。日本の人口減少とかかわっているとは思いませんでした。今日の話から関にも来てもらうことがとても重要であると感じました。また、私たちのグループが研究していることととてもリンクしました。パンフレットを作ってどこに置かかなど細かいところもこれから考えていきたいです。